

平成 21 年度 第 11 回病院局経営戦略会議概要

日 時：平成 22 年 2 月 19 日（金） 午後 3 時 00 分～午後 5 時 00 分

場 所：県庁 10 階 企業局会議室

出席者：病院局 病院事業管理者，病院局長，総務課長，
経営企画課長，ほか

病院 三好病院長，海部病院長，中央病院副院長，
各病院看護局長，各病院事務局長 ほか

(1) 平成 21 年度決算見込み（12 月末）について

【説明】病院局経営企画課 予算経理担当

平成 21 年度の決算見込みについて説明する。前月より収支が相当向上している。

【質疑等】

管理者：中央病院は収支見込みが過去最高になっているし，三好病院も海部病院も努力の結果が出てきているようである。

内部留保資金から他会計借入金を差し引いた「実質内部留保資金」についても，平成 16 年度から，改善し，だいぶ体力がついてきたようであるが，全国的にはまだまだ悪い方である。

管理者：独法化や民間譲渡が進んでいるが，全部適用で運営している徳島県が踏ん張ることにより，その流れに歯止めがかかり公共の福祉の増進のための自治体病院としての使命を全国的に守っていくといった気概を持つ必要がある。

(2) 平成 21 年第 3 四半期日報集計値について

【説明】病院局経営企画課 経営戦略担当

平成 21 年度の第 3 四半期の「1 日平均入院患者数」，「平均在院日数」，「新規入院患者数」の推移等について集計値を報告する。

【質疑等】

管理者：三好病院の入院患者数が例年並みに戻ってきているが，何科が増加しているのか。

三好病院：呼吸器内科，脳神経外科が増加している。

管理者：海部病院の平均在院日数が伸びてきているが，亜急性期入院医療管理料を算定する病床を含んでいるからか。

海部病院：亜急性期入院医療管理料を算定する病床の患者を除けば，短い日数である。

(3) 地域医療連携の取組について

【説明】中央病院

中央病院では、地域医療連携事業・医療福祉相談・地域連携パス推進などを主に行っていることを説明する。

【質疑等】

管理者：中央病院の地域連携は外に出しても、全国的に恥ずかしくない連携が出来ている。

【説明】三好病院

三好病院の登録医数、年度別の紹介率、逆紹介率等について説明する。

また、地域連携パス、「私のカルテ」、研修の場の提供等など、地域連携への具体的取組について説明する。

【質疑等】

管理者：日々の仕事の中で、医療の質、透明性、効率性を確保し、厚生労働省の後追いではなく、厚生労働省が後追いするような医療を目指していかなければならない。

国では、診療報酬明細書を無料発行することが義務化されるが、リーディングホスピタルとして三好病院も、「私のカルテ」を広げていくことが必要である。

管理者：地域連携に関しては、中央病院に相談にのってもらえばよい。

【説明】海部病院

海部病院における病診連携、保健・福祉関係者との連携、訪問医療の推進について説明する。

【質疑等】

管理者：在宅支援担当者会議の件数が6月以降減少しているが、何が原因か。

海部病院：6月以降は、在宅支援を必要とする患者さんが少なかったことが原因と思われる。

管理者：中央病院の担当者に、海部病院にも指導に行ってもらおうようにすること。

(4) 看護服の見直しについて

【説明】病院局経営企画課 企画管理担当

次期看護服の見直しに関して、検討チームを立ち上げ、課題等を協議していくこととしたい。

各病院等：ドクターやコメディカルの服も含めて検討してもらいたい。

管理者：4月から検討チームがスタートできるようにすること。

(5) その他

・次月分の病院局戦略会議の議題について

【説明】病院局経営企画課 経営戦略担当

次月分の「経営戦略会議」の議題について説明する。

各病院の生協売店について

【説明】病院局経営企画課 企画管理担当

生協売店の営業時間や品揃え等について、生協本部に要望した結果について報告。

診療材料について

【説明】病院局経営企画課 企画管理担当

診療材料の共同購入について、三病院で検討を行い、品目の追加及び同等品の調査を行うため、各病院でサンプリングを実施予定。御協力をお願いしたい。

三病院については、既に薬品で、病院間の受け払いをしているが、診療材料についても、死に在庫を作らないために、薬品同様に三病院で受け払いを活用してもらいたい。